

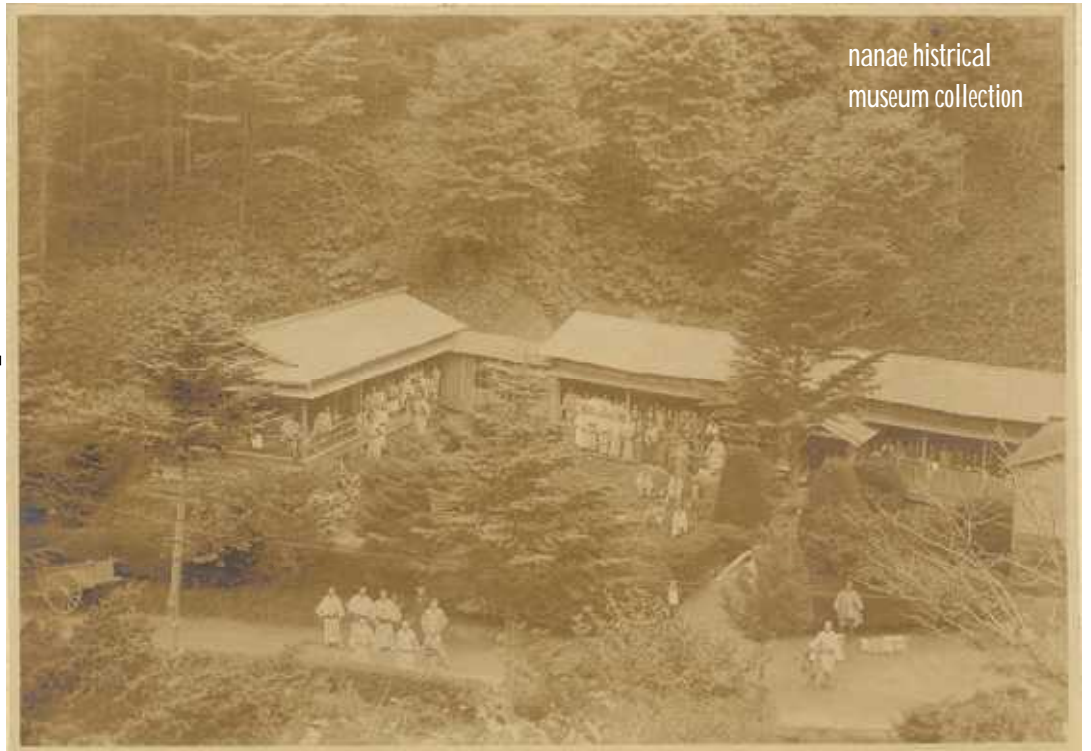
# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第2号

## ななえ古写真物語 VOL. 2

### 失われた温泉宿 ～熊の湯温泉～

明治35年頃～昭和16年。  
現クリーンセンター近く。  
写真は正頃か？



「昔、峠下のあたりにあったアイヌ人たちのコタン（村）に、一人の若者が住んでいました。ある年の冬に、獲物を探しに山奥へと入った若者は、温泉につかる大熊を見つけ、岩陰から熊めがけて毒矢を放ちますが、熊にはあたらずワシにあたってしまい、怒った熊と格闘になってしまいます。やっとのことで、熊を倒した若者も、熊のつめにやられ、その場に倒れてしまいます。心配した家の人たちが若者を発見すると、手負いの若者は、熊が入っていたなら、試しに熊がつかっていた温泉に入ってみます。すると、程よくしてさしもの重症が全快したということです。」（ななえの歴史と伝説「熊の湯のおこり」を簡略して記す）。

この伝説にある温泉が実在したことは、大正5年に発行された「七飯村史」に、「熊ノ湯八七飯村大字峠下字ム澤ニアリ東北方八森村ニ通ズル国道に沿ヒ西方山脈ニテメグラシ・・・（中略）。蝦夷居住時代手負トナリシ熊、コノ冷泉に來リテ傷部を浸シ居レリト熊ノ湯ノ名称コレニ由来ス・・・」と記載されていることから伺えます。

しかし、この熊の湯は、明治35年頃に池田惣吉が、私財を投じて国道からの道や浴場・家屋などを建築して開業した旅館で、玄関は当時めずらしい洋風のドア、灯りはランプを使用していました。部屋は全部で8部屋あり、浴槽はコンクリートで作られていたそうです。泉質は硫黄の冷泉で、傷・発疹・やけど・神経痛・リウマチに特効があり、近郊はともかく、函館や遠くは本州からのお客も多かったと聞きます。また、毎年夏の土用の丑の日には湯祭りが開催され、近くには露店が並び、冷たいトコロテンが飛ぶように売れたそうです。とりわけ、この日ばかりは、近隣の農家の方や子供たちにとっても至福の時だったことでしょう。

しかし、残念なことに昭和時代になると、支那事変が起こるなど戦渦に巻き込まれていき、重要な働き手だった男の人たちが次々と出征してしまったため、旅館の経営は困難になり昭和16年に廃業となりました。

今は、あまり人の通ることの無くなった場所に、このような温泉旅館があったことをこの古写真は静かに語ってくれています。

歴史館では古写真を集めております。心当たりのある方はご連絡ください。



## 3月の予定



1	土
2	日 冬の探鳥会
3	月 ひな祭り
4	火
5	水 夜の博物館
6	木
7	金 パネル展OPEN予定
8	土
9	日
10	月
11	火
12	水
13	木
14	金
15	土 ジュニア探検クラブ
16	日
17	月
18	火
19	水
20	木 春分の日
21	金
22	土
23	日
24	月
25	火
26	水 パネル展CLOSE予定
27	木
28	金
29	土
30	日
31	月

3月の休館日はありません。

### ひな人形をかざっています!

常設展示室に、友の会のみなさんが、ひな人形をかざってくれました。明治期のものや、つるし雛もありますので、是非ご覧下さい。(S)



## 16日

夜の博物館が開催されました。後期第2回目は「官園という農場」と題して、七飯町が日本で最初に近代農業が広まった由来と、明治期に存在した農業試験場「七重官園」についての講座でした。はじめに、常設展示室にある七重官園のジオラマの説明があり、その後、当時の写真を紹介しながら、官園でどのようなことが行われていたのか解説されました。講座後、多くの質問がかわされ、受講者の熱心さによって、寒い夜にもかかわらず熱い一日になりました。



官園のジオラマを説明している様子

## 26日

ジュニア探検クラブで「冬を遊ぶ」と題して、竹スキーづくりと雪像づくりに挑戦しました。

竹スキーは、竹を曲げてつくるミニスキーみたいなもので、曲げる部分をちょうこく刀で薄くけずり、ろうそくの火を使って、あぶりながら曲げてつくりますが、少し竹がかたかったかな?

午後からは、雪像づくりに挑戦です。箱に雪をつめ、よく踏み固めてからブロックのように積み上げ、最後にスコップやカマを使って形をつくります。なぜか、初めの予定から変わったりしましたが、リアルなものから、ほのぼのとした雪像までできました。寒い日でしたが、元気な児童をみているとやはり、子どもは風の子なんだなと思う一日でした。



熱い! 熱い!

ころぶ、ころぶ、ころぶ~



慎重に雪を積みます



できたぜ イエーイ

## 12日~

今年度、寄贈された資料と当館収蔵資料の整理作業を行いました。寄贈された資料は1点ずつ洗浄し、番号をつけ、写真撮影をしてカードにまとめます。とても地道な作業ですが、これも歴史館の大事な仕事です。

また、長らく収蔵していた資料の中に、昭和20~30年代に町内で採集された土器や石器が200点ほどあり、壊れた部分の補修などしています。主に大中山地区から出土したこれらの遺物の中には、珍しい文様のものもあり、いずれ皆様に紹介したいなと思っています。



昭和20~30年代に採集された土器たち

### 編集後記 ~tawagoto~

創刊号発行のことが新聞記事にのりました。すると、記事を読んだ方から、当館宛に大沼の古写真と戦前に大沼公園のお土産屋さんで購入した「ドングリぼっちゃん」という人形が封書で届くという、とてもうれしい出来事が……。私はドングリぼっちゃんという名前は知っていたのですが、実物を見るのは初めて! 只今、雛人形と一緒に展示しています。寄贈くださった方には、この紙面を借りて厚くお礼申し上げます。(やまだひさし)

# Richard

~ピチャリ~ 第2号

平成20年2月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町568-6

電話 0138-66-2181

FAX 0138-66-2182